

剥離紙用シリコーン（UV硬化型・軽剥離用） UV9300

UV9300は、UV硬化型剥離紙用シリコーンで軽剥離タイプです。触媒にはUV9380Cを用い、本体：触媒=100：1～3（重量部）が標準処方です。

特長

- オニウム塩光開始剤を用い、エポキシ基をカチオン重合させて硬化するタイプのため、薄膜塗工しても酸素による硬化阻害がなく、窒素雰囲気にする必要がありません。
- UV硬化タイプのため、耐熱性のない基材に対して適用できます。
- フィルム基材に対しても優れた密着性を示します。
- 254nmのUV光により反応するため、通常光下でも優れた処理液安定性を示します。
- アクリル系粘着剤に対して安定した剥離力を示します
- シリコーンの移行が少なく、高残留接着率を示します。
- 高光沢の表面が得られます。

用途

- 各種壁紙、ラベルなどの剥離紙
- 各種剥離フィルム
- 紙、繊維などの撥水処理
- 高光沢の表面仕上げ

特性例

項目	特性値
外観	淡褐色透明
比重（25℃）	0.99
粘度（25℃）	mm ² /s {cSt} 300 {300}
シリコーン分	% 100

剥離特性例

項目	特性値
剥離力 mN/50mm {gf/50mm}	0.3m/min 292 {30}
	30m/min 1,220 {124}
	60m/min 1,610 {164}
	100m/min 1,830 {186}
残留接着率	% 101

試験条件概要

剥離紙の調製

シリコーン配合組成	: UV9300/UV9380C = 100/1
基材	: ポリエチレンラミネート紙 (75g/m ²)
シリコーン塗工量	: 0.9g/m ² (dry)
硬化条件	
光源	: フュージョンHバルブ 120W/cm
照射距離	: 10cm
コンベアスピード	: 10m/min

剥離力評価

剥離紙養生	: シリコーン硬化後25°C、50%RH、1日
粘着剤	: 溶剤型アクリル系粘着剤BPS8170 (東洋インキ製造製)
粘着剤塗工厚	: 5mil wet
粘着剤乾燥	: 100°C、3分
貼合紙	: 上質紙 (65g/m ²)
粘着シート養生	: 上質紙貼り合わせ後25°C、50%RH、1日

残留接着率

測定テープ	: ニットー31Bテープ (日東電工製)
養生条件	: 20g/cm ² 荷重下70°C、20h

使用方法

UV9300に、触媒であるUV9380Cを混合して塗工します。

処理液配合例

	(重量部)
UV9300	100
UV9380C	1
<hr/>	
計	101

本製品は、無溶剤塗工可能な製品ですが、必要に応じて、基材に対して濡れ性のよいイソプロピルアルコール、メチルエチルケトン、n-ヘキサン等が希釈溶剤として使用可能です。UV硬化前には、乾燥を十分に行って、希釈溶媒および水分を除去してください。なお、本製品はトルエン・キシレンなどにも溶解しますが、これらの溶剤は基材に対して濡れ性があまりよくありませんので、単品の使用はお勧めできません。上記の濡れ性のよい溶剤と混合して使用することは可能です。混合比は基材や塗工条件によって異なりますので、あらかじめご確認の上、使用してください。

取扱い上の注意

- 本品はUV硬化型(カチオン硬化型)のシリコーンです。アミンなどの塩基性物質、水、界面活性剤などの物質は硬化阻害の原因になりますので、処理液には混入しないようご注意ください。また、ポリ塩化ビニルやポリウレタン、帯電防止剤などの改質剤が使用されたフィルム、クレーコート紙など、シリコーンが硬化しにくい基材がありますので、ご注意ください。
- UV9380Cは医薬用外劇物です。
- 取扱い時には、保護眼鏡および必要に応じて保護手袋を着用してください。
- 局所排気装置を運転し、換気をよくして作業してください。

保 管

- 直射日光を避け、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。

荷 姿

- UV9300 : 18kgペール缶、 180kgドラム
- UV9380C : 180gガラスビン(1ケース20P)、900gポリビン(1ケース10P入り)、18kgペール缶

消 防 法

- UV9300 : 危険物第4類第4石油類
- UV9380C : 危険物第4類第3石油類

発行：2000年11月/改訂①2006年6月

・本製品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される場合は、貴社にてその安全性を事前にご試験ご確認のうえご使用ください。なお、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。

・記載のデータは、弊社の試験方法による実測値の一例で、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するか必ずご確認願います。なお、本文中の用途は、いかなる特許にも抵触しないことを保証するものではありません。

・製品改良のため、予告なく内容を変更する場合があります。

・本資料を転載される場合は、弊社までご連絡ください。

・安全性に関する詳細な情報につきましては、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

・仕様書を要求される場合は、営業を通してお求めください。



モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社

<http://www.momentive.jp>

テクニカルアンサーセンター
東京本社(営業)
大阪支店
名古屋支店
九州営業所

TEL.0276-20-6182, 0120-975-400 FAX.0276-31-6259
TEL.03-5544-3111(代) FAX.03-5544-3122
TEL.06-6251-6272(代) FAX.06-252-8255
TEL.052-962-5731(代) FAX.052-962-5750
TEL.092-291-2056(代) FAX.092-262-1411